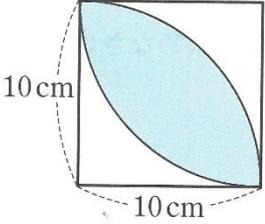


第1学年数学科学習指導案

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日 時 | 令和3年12月9日(木) 9:30~10:20 |
| 2 | 単 元 | 平面図形 |
| 3 | ね ら い | 多様な面積の求め方に触れることで、数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。 |
| 4 | 研究の視点 | 思考力・判断力・表現力を高めるための、対話的な活動の工夫。 |
| 5 | 準 備 物 | パソコン、タブレット端末 |
| 6 | 展 開 | |

学習過程	学 習 内 容	○指導及び支援◎評価
1 本時の課題を把握する。	<p>○ 葉っぱ形の面積の様々な求め方を考える。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>○ 瀬戸中と近隣校のオンライン交流をする。</p> <p>○ オンライン交流の初めに、自己紹介をさせる。</p>
2 意見交流する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 葉っぱ形の面積のいろいろな求め方を、発表しよう。 </div> <p>① おうぎ形の面積から直角三角形の面積を引き、2倍する。</p> $\pi \times 10^2 \times \frac{90}{360} - 10 \times 10 \times \frac{1}{2} = 25\pi - 50$ $(25\pi - 50) \times 2 = 50\pi - 100 (\text{cm}^2)$ <p>② 2つの白い部分の面積を正方形の面積から引く。</p> $10 \times 10 - \pi \times 10^2 \times \frac{90}{360} = 100 - 25\pi$ $100 - (100 - 25\pi) \times 2 = 50\pi - 100 (\text{cm}^2)$ <p>③ おうぎ形の2倍の面積から、正方形の面積を引く。</p> $(\pi \times 10^2 \times \frac{90}{360}) \times 2 - 100 = 50\pi - 100 (\text{cm}^2)$ <p>④ 半径10 cmの円の面積から対角線が20 cmの正方形の面積を引き、半分にする。</p> $(\pi \times 10^2 - 20 \times 20 \times \frac{1}{2}) \times \frac{1}{2} = 50\pi - 100 (\text{cm}^2)$ <p>⑤ 半径10 cmの半円の面積から、底辺20 cm高さ10 cm直角三角形の面積を引く。</p> $\pi \times 10^2 \times \frac{1}{2} - 20 \times 10 \times \frac{1}{2} = 50\pi - 100 (\text{cm}^2)$	<p>○ ICT等を活用し、葉っぱ形の面積の求め方を発表させる。</p> <p>○ 分からないことは、質問させる。</p> <p>○ 求め方を、図や式と結び付けさせる。</p> <p>◎ 意欲的に自分の考えを伝えることができたか。</p> <p>◎ 他の解法を理解することができたか。</p>
3 まとめ	<p>○ 交流をしての感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと発表でき、有意義な時間となった。 ・様々な考え方に触れ、考えの幅が広がった。 	<p>○ 感想用紙に記入させる。</p> <p>○ 様々な解法の良さを感じさせる。</p>